

リノベートニュース

令和7年10月号 NO.281

リノベートニュースR7.9 NO280で「UVパテのデモンストレーション」の記事を掲載しました。その後、板金課、塗装課で導入のメリットを話し合った結果、導入を決めました。パテの乾燥時間の短縮は、当日受注、当日発送の締め切り時間に大きな影響を及ぼす要素になることを重視、UVパテの活用で当日発送の締め切り時間に柔軟性を持たせることができるなど、お客様にもメリットがある点を考慮した次第です。また、パテの乾燥時間による作業の停滞で作業中のコアがあふれ、作業の効率化、作業場の煩雑さの解消にもつながる点も導入の後押しになりました。UVパテの特性である「熱による影響を最小限に抑えられたことで、プラスチックパーツやバンパーなど熱に弱い箇所などにも安心して使用できる点」を評価したことはもちろんです。

豆知識 ホンダ S660、JW5 年式によるフェンダーの相違点

前期 H27.4～R2.1	ターンランプの穴が有る
後期 R2.1～R3.12	ターンランプの穴が無くなる

※全体の形状は同一です



前期



後期

豆知識 スバル フォレスター SK5 (1800cc)、SKE (2000cc)、SK9 (2500cc) 年式によるヘッドライトの相違点

前期 H30.7～R2.10	プロジェクターまわりがメッキ
中期 R2.10～R3.8	プロジェクターまわりが黒色
後期 R3.8～R7.4	前、中期と全く違った形状で内よりの切れ込が深くなる

※前期・中期の形状は同一です



前期



中期



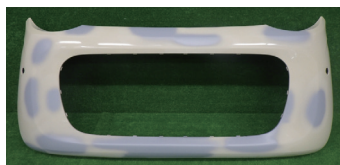
後期

豆知識 スズキ ワゴンRスマイル、MX81S (ガソリン車)、MX91S (HV車) 年式によるFバンパーの相違点

前期 R3.9～R6.12	バンパー中央に横一本デザインが入る
後期 R6.12～	前期に比べ開口部が大きくなる



前期



後期

ルート営業車の同乗報告 (商品管理課係長による市場調査)

ルート営業車に同乗した在庫管理担当の社員2名により、BS様の交換済部品の管理状況を見学させて頂きました。どの工場のモータープールは満車状態で人手不足が深刻な問題となり、再利用を目的としたパーツ管理まで手が回らない現状がありました。一方、オークションで購入した事故車を専門修理するBS様では、購入車種が限定されているため、ネットで安い部品の先行買い付けを行い、多種多様なパーツ在庫がみられました。逆に余った部品はネットで販売しているとのこと、利益確保に努めている様子が伺えました。

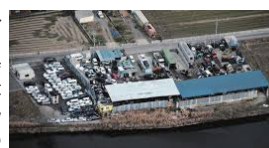
一斉清掃

年に2回、お盆休み前と年末・年始の休み前に、一斉清掃をおこなっています。60名近くのメンバー全員による半日がかりの清掃は、毎週水曜日におこなう10分間清掃ではできない場所を隅々までおこなうため、社内が見違えるようにきれいに整理されます。今年は、酷暑の中での作業でしたので、休憩時間には冷たい飲み物のほかに賄い班による「冷やし中華」が用意されました。作業終了後は有志20名が参加して大宮近くの居酒屋で暑気払いも行われました。



解体業・参入希望の外国人向け講習 拡大の動き

自動車リサイクル促進センターは、外国人が運営している解体業者に、法令や実務の基礎知識を伝える講習会の取り組みを始めました。講習は日本語、英語、中国語、ウルドゥー語、ペルシア語のテキストが用意され、通訳も交えて行われ、座学では解体業の許可基準などを周知させ、実務では、エアバック解体方法や注意点を解説、他にリサイクル部品の取引システムの操作方法も学べる。最後に10問の設問を解くと修了書が交付される。これまで無許可解体業者が多い千葉県や名古屋港に近い三重県などで講習会が開かれ、今後、他の地方自治体にも取り組みを広げる方針とのことです。・国内における外国人による健全な解体業の育成につながるものと大いに歓迎します。(日刊自の記事抜粋)



段ボールクッション材の減少効果

最盛期の段ボールクッション材消費量は、大型ポリバケツに15個以上の量が使われていました。お客様から「クッション材に部品が埋もれている。もっとシンプルに梱包してほしい!」といった意見が寄せられ、カイゼンが始まりました。いちばん消費量の多かった「ヘッドライトの梱包」から着手、ズレ止めや突起部などに発砲スチロール材の活用などを経て、現在はポリバケツに5～6個の消費量まで減らすことができました。大きいスペースを占めていた段ボール置き場は部品倉庫として活用されました。・お客様の声による大きな改善につながりました。



バンパーの型直し

作業場の中で唯一エアコンがない場所がバンパーの型直し室です。四方を開け放し風通しを良くしているものの、ジェットヒーターを使っている室内は大変な暑さです。担当する細谷さん談:「いわゆるファン付き作業服は体に熱風を入れるようなもので効果がなく、作業中のフットワークも落ちる」と熱中症対策は水分補給のみで作業しています。在庫管理では大型バンパーが型崩れを起こさない対策を講じていますが、損傷箇所の軽微な凹みや入庫時の変形の型直しは、やはり熱を加えて型を整えることが必要です。・一日も早く涼しい気候になることを望むばかりです。

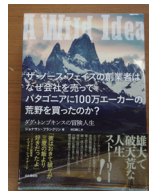


田んぼアートが消えて「調節池」用地に

R5.6.2の大雨により越谷周辺で甚大な浸水被害が発生、本社の車両も水に浸かりました。こうした災害被害を軽減するために、国、県、市町村が連携して大規模な「調節池」を作る計画が決まりました。現在、用地となる場所の周辺住民との説明会も実施されており、この用地予定地は地域おこしの一環でファンも増えた「田んぼアート」が描かれる周辺一帯です。残念ですがおそらく「田んぼアート」も今年が最後になるようです。



ザ・ノース・フェイスの創業者ダグ・トンプキンスの冒険人生 相談役からの投稿



お盆休み中に読んだ本の紹介です。創業者が語るザ・ノース・フェイスの名前の由来は「皆、南壁(サウスフェイス)ばかり登るんだ。雪はやわらかいし、日が射して暖かい。でも僕は難しい壁のほうがいい。堅くて凍っている壁、北壁さ(ノースフェイス)。難しくても登りがいいじゃないか。人生もそういう道を歩きたいと思うんだ」。共に事業を起こした仲間、後の「バタゴニア」の創業者イヴォン・シュイナードがいる。事業で成功した二人は南米の国立公園づくりに巨額な私費を投じた環境活動家でもある。・愛用するブランドが益々好きになりました。山と渓谷社2,860円

